

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	広島文教大学
設置者名	学校法人武田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計			
教育学部	教育学科 初等教育専攻	—	14	—	57	71	13	—	
	教育学科 中等教育専攻	—			13	27	13	—	
人間科学部	初等教育学科	—		—	5	19	13	—	
	人間福祉学科	—			63	77	13	—	
	心理学科	—			24	38	13	—	
	人間栄養学科	—			45	59	13	—	
	グローバルコミュニケーション学科	—			62	76	13	—	
(備考) 教育学部は、平成31年4月1日新規開設であり、人間科学部初等教育学科は、平成31年度(令和元年)学生募集停止とした。									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページの教育情報の公表に項目を設置する。(公表： https://www.h-bunkyo.ac.jp/university/about/airing/)

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) 特になし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	広島文教大学
設置者名	学校法人武田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページの「教育情報の公表」の中で公表する。

[学校法人武田学園役員等名簿 \(h-bunkyo.ac.jp\)](http://h-bunkyo.ac.jp)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	個人病院 院長	4年 令和2年4月1日～令和6年3月31日	経営全般
非常勤	株式会社 取締役会長	4年 令和2年4月1日～令和6年3月31日	経営全般
非常勤	医療法人 理事長	4年 令和2年4月1日～令和6年3月31日	経営全般
非常勤	株式会社 代表取締役	4年 令和2年4月1日～令和6年3月31日	経営全般
非常勤	株式会社 代表取締役	4年 令和2年6月1日～令和6年5月31日	経営全般
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	広島文教大学
設置者名	学校法人武田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの作成にあっては、シラバスのガイドラインを示し、参考事例を添付し全教員に依頼している。また、作成後には、本学教務委員会委員によりシラバスの確認を行なっている。ガイドラインの主な内容は、次のとおりである。</p> <p>(1) シラバスの定義</p> <p>(2) シラバスの役割</p> <p>(3) シラバスの作成様式</p> <p>(4) 成績評価方法の記入について</p> <p>(5) 持続可能な開発目標 (SDGs) の 17 の目標 (ゴール)</p> <p>(6) シラバス作成に当たっての留意事項</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページから閲覧できるよう公表</p> <p>unipa.h-bunkyo.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>卒業認定・学位授与の方針に掲げる教育目標の達成状況は、教育課程編成・実施の方針の「3 学修成果 の評価の在り方」によりますが、その具体的な方法は以下のとおりです。</p> <p>(1) 卒業研究の評価</p> <p>卒業研究の評価は、学部共通の卒業研究ルーブリックによって評価します。評価結果の妥当性については、大学及び学科として評価結果を集計し検証します。また、学生個人としては卒業研究ルーブリック及び指導教員との面談により確認します。</p> <p>(2) 総括テスト、レポート等による評価</p> <p>各期末に総括テスト、レポート等による評価を行います。レポートについてはコモン・ルーブリック を必要に応じて活用します。また、科目の内容に共通性があるものについては科目群として、コモン・ルーブリックを科目の性質に対応させた科目群ルーブリックとして活用します。</p> <p>(3) 育心アンケート</p> <p>卒業認定・学位授与の方針に掲げる教育目標の達成状況を確認するために、卒業時に育心アンケートによる調査を行います。この結果は、大学及び学科として集計します。</p> <p>上記に掲げる評価の他、各種採用試験・国家試験等の合格率、資格の取得状況などについても評価の観点として設定します。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学では、GPA 制度取扱要項を制定し、学生生活ハンドブックに記載し、学生へ周知を図っている。また、教育情報の公表としてホームページにも公表している。GPA は、S (4.0)、A (3.0)、B (2.0)、C (1.0)、D (0) と数値化し、修得単位に乘じ合計したものを総履修登録単位数で除したものである。</p> <p>また、GPA 値による成績の分布表を毎学年後期成績が確定した段階で学生に公表し、学生自身が学部・学年での成績の位置を把握できるようにする。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページで公表 https://www.h-bunkyo.ac.jp/university/wp-content/themes/bunkyo/assets/img/about/airing/広島文教大学 GPA 制度取扱要項 2022.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学では、卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー）を定めている。建学の精神及び学園訓に基づき、謙虚で優雅な人間性と思いやりの心を持ち、正しい判断力とたくましい実践力を身に付けた人材を目的とし、「育心育人」という教育理念の具現化を通して、「自立した人材」の育成を目的としている。その目的を達成するために、次の能力を修得及び育成し、社会に有用な人材を育成する。</p> <p>(1) 状況を見極め適切に判断し、計画を具体的な行動に移す能力（実践力） (2) 自らを律し、社会でたくましく生き抜こうとする姿勢（自律性） (3) リテラシーに基づくコミュニケーション力 (4) 専門的な知識・技能の活用力 (5) 豊かな人間性（育心育人）</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページで公表 policy2021.pdf (h-bunkyo.ac.jp)</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	広島文教大学
設置者名	学校法人武田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.h-bunkyo.ac.jp/university/about/disclose/finance/
収支計算書又は損益計算書	https://www.h-bunkyo.ac.jp/university/about/disclose/finance/
財産目録	https://www.h-bunkyo.ac.jp/university/about/disclose/finance/
事業報告書	https://www.h-bunkyo.ac.jp/university/about/disclose/finance/
監事による監査報告(書)	https://www.h-bunkyo.ac.jp/university/about/disclose/finance/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページで公表 2021年度自己点検・評価報告書.pdf (h-bunkyo.ac.jp)
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページで公表 https://www.h-bunkyo.ac.jp/university/about/disclose/establishment/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 教育学部 (教育学科)
教育研究上の目的 (公表方法: ホームページで公表) policy2021.pdf (h-bunkyo.ac.jp)
(概要) 建学の精神及び学園訓に基づき、謙虚で優雅な人間性と思いやりの心を持ち、正しい判断力とたくましい実践力を身に付けた人材を目的とし、「育心育人」という教育理念の具現化を通して、「自立した人材」の育成を目的としている。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: ホームページで公表) policy2021.pdf (h-bunkyo.ac.jp)
(概要) (1) 状況を見極め適切に判断し、計画を具体的な行動に移す能力 (実践力) (2) 自らを律し、社会でたくましく生き抜こうとする姿勢 (自立性) (3) リテラシーに基づくコミュニケーション力 (4) 専門的な知識・技能の活用力 (5) 豊かな人間性 (育心育人)
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: ホームページで公表) policy2021.pdf (h-bunkyo.ac.jp)
(概要) (1) 教養教育では、現実の問題を多面的に考える力や社会で必要となる基礎的なスキルとともに、たくましく生きる力を身に付けることを目的として初年次教育及びキャリア形成教育を行なう。 (2) 語学教育では、英語学修専用施設 (Bunkyo English Communication Center) を活用した少人数教育によるアクティブ・ラーニングを通して外国語の活用力の育成を図る。 (3) 専門教育では、教育学の体系性に基づいて、科目を適切な学年・期に配置し、その関連性をカリキュラムマップによって示す。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法: ホームページで公表) policy2021.pdf (h-bunkyo.ac.jp)
(概要) (1) 入学前教育に対して持続的に取り組むことができる。 (2) 高等学校までの学習内容のうち、国語総合を通じてコミュニケーション力及びリテラシーの基礎的な力を身に付ける。 (3) 自立するために必要な、教育学に関する専門的知識・技能を修得しようとする意欲がある。 (4) 広島文教大学の教育理念を理解し、心の在り方を問い続けようとする意欲がある。

<p>学部等名 人間科学部（初等教育学科、人間福祉学科、心理学科、人間栄養学科、グローバルコミュニケーション学科）</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページで公表 policy2021.pdf (h-bunkyo.ac.jp)</p>
<p>（概要） 建学の精神及び学園訓に基づき、謙虚で優雅な人間性と思いやりの心を持ち、正しい判断力とたくましい実践力を身に付けた人材を目的とし、「育心育人」という教育理念の具現化を通して、「自立した人材」の育成を目的としている。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表 policy2021.pdf (h-bunkyo.ac.jp)</p>
<p>（概要） (1) 状況を見極め適切に判断し、計画を具体的な行動に移す能力（実践力） (2) 自らを律し、社会でたくましく生き抜こうとする姿勢（自立性） (3) リテラシーに基づくコミュニケーション力 (4) 専門的な知識・技能の活用力 (5) 豊かな人間性（育心育人）</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：ホームページで公表 policy2021.pdf (h-bunkyo.ac.jp)</p>
<p>（概要） (1) 教養教育では、現実の問題を多面的に考える力や社会で必要となる基礎的なスキルとともに、たくましく生きる力を身に付けることをお目的として初年次教育及びキャリア形成教育を行なう。 (2) 語学教育では、英語学修専用施設（Bunkyo English Communication Center）を活用した少人数教育によるアクティブ・ラーニングを通して外国語の活用力の育成を図る。 (3) 専門教育では、教育学の体系性に基づいて、科目を適切な学年・期に配置し、その関連性をカリキュラムマップによって示す。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 （公表方法：ホームページで公表 policy2021.pdf (h-bunkyo.ac.jp)</p>
<p>（概要） (1) 入学前教育に対して持続的に取り組むことができる。 (2) 高等学校までの学習内容のうち、国語総合を通じてコミュニケーション力及びリテラシーの基礎的な力を身に付ける。 (3) 自立するために必要な、社会福祉学に関する専門的知識・技能を修得しようとする意欲がある。 (4) 広島文教大学の教育理念を理解し、心の在り方を問い続けようとする意欲がある。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：ホームページで公表 https://www.h-bunkyo.ac.jp/university/about/airing/organization/</p>
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					人
教育学部	—	17人	5人	6人	0人	1人	29人
人間科学部	—	20人	11人	13人	4人	9人	57人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		29人					29人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
組織的なFD活動は次の5点に集約される。 （1）公開授業（2）FD・SD研修会（3）学生による授業アンケート結果を受けての授業改善（4）「広島文教大学紀要」「広島文教大学高等教育センター紀要」の刊行（5）学修行動調査							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
教育学部	150人	173人	115.3%	600人	659人	109.8%	0人	0人
人間科学部	240人	238人	99.2%	1,030人	973人	94.5%	35人	5人
合計	390人	411人	105.4%	1,630人	1,632人	100.1%	35人	5人
(備考) 教育学部は、平成31年4月1日新規開設。人間科学部内の初等教育学科は、平成31年度学生募集停止。								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人間科学部	319人 (100%)	12人 (3.8%)	299人 (93.7%)	8人 (2.5%)
合計	319人 (100%)	12人 (3.8%)	299人 (93.7%)	8人 (2.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考) このデータは、令和4年3月卒業者の実績です。				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
人間科学部	336人 (100%)	312人 (92.9%)	2人 (0.6%)	22人 (6.5%)	0人 (0%)
合計	336人 (100%)	319人 (92.9%)	4人 (0.6%)	13人 (6.5%)	0人 (0%)
(備考) このデータは、平成30年度入学生を対象としたものです。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 本学教育課程は、教養教育科目、専門教育科目及び資格科目となっている。授業科目、教育の方法及び内容並びに年間の授業計画については、「広島文教大学教育課程等に関する規程」で定めている。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 本学の学業成績の基準及び卒業要件等については、「広島文教大学授業科目履修規程」により定めている。成績評価は、60点以上を合格とし、「秀」「優」「良」「可」と評価し、「S」「A」「B」「C」と表示する。卒業の基準については、教養教育科目及び専門教育科目において、所属する学部等で指定する単位を修得しなければならない。また、2年次から3年次への進級には、「広島文教大学における進級に関する規程」に定めている単位数を修得していることが必要である。なお、令和3年度入学生からは、卒業時において本学GPA制度取扱い要項に規定する通算GPA値は1.2以上でなければならない。ただし、卒業研究の成績評価が「良」以上の場合は除く。
--

学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
教育学部	教育学科	128単位	有	24単位
人間科学部	初等教育学科	124単位	有	24単位
	人間福祉学科	124単位	有	24単位
	心理学科	124単位	有	24単位
	人間栄養学科	124単位	有	24単位
	グローバルコミュニケーション 学科	124単位	有	24単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページで公表 https://www.h-bunkyo.ac.jp/university/about/campusmap/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
教育学部	教育学科	760,000 円	270,000 円	307,700 円	
人間科学部	人間福祉学科	760,000 円	270,000 円	307,700 円	
	心理学科	760,000 円	270,000 円	307,700 円	
	人間栄養学科	760,000 円	270,000 円	357,700 円	
	グローバルコミュニケーション学科	760,000 円	270,000 円	307,700 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学生の修学支援として、学習支援室を設置している。学習支援室では、職員1名が配置され、学生が学習を進めていく上での疑問を解決に導く手伝いを行っている。設備面でもグループ学習に利用できるラーニング・コモンズや一人で集中して勉強できる個別学習専用施設 (ILS) を設置し、多様な学習に対応できるように支援をしている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 学生の進路選択に係る支援として、「個別相談の随時受付」「3・4年生全員面談」「OG 座談会」など個別支援に重点を置いた支援を実施している。また、4年生が後輩に残す「就職試験報告書」は、先輩から後輩への支援として重要な役割を果たしている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 本学では、学生相談室を設置し、心身の健康をはじめ、大学生活全般にかかわる悩みに対して解決を支援している。学生相談室には相談員 (臨床心理士) が2名体制で対応している。事前予約となっているが、個人の秘密は固く守られるため、安心して相談することができる。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページで公表 https://www.h-bunkyo.ac.jp/university/about/airing/

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	広島文教大学
設置者名	学校法人武田学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		199人	195人	209人
内 訳	第Ⅰ区分	126人	114人	
	第Ⅱ区分	44人	56人	
	第Ⅲ区分	29人	25人	
家計急変による支援対象者（年間）				一人
合計（年間）				213人
（備考）学生1名について、通常の採用による支援を受けていたところ、2021年12月より家計急変による支援に切り替えており、通常支援、家計急変支援の両方に計上しております。				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	20人	人	人
計	20人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	一人
3月以上の停学	0人
年間計	一人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	31人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	一人	人	人
計	31人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F134310005415
学校名	広島文教大学
設置者名	学校法人武田学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		199人	195人	209人
内 訳	第Ⅰ区分	126人	114人	
	第Ⅱ区分	44人	56人	
	第Ⅲ区分	29人	25人	
家計急変による支援対象者（年間）				一人
合計（年間）				213人
(備考) 学生1名について、通常の採用による支援を受けていたところ、2021年12月より家計急変による支援に切り替えており、通常支援、家計急変支援の両方に計上しております。				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	4人
3月以上の停学	0人
年間計	4人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	31人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	一人		
計	31人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。